



2024年10月16日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー
住 所 大阪市西区江戸堀二丁目6番33号
代表者名 代表取締役社長執行役員 和田山 朋弥
(コード番号：7804、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 清 水 明
(TEL. 06-6448-1801)

上場調達資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年6月19日付「有価証券届出書」、2019年7月4日付及び2019年7月12日付「有価証券届出書の訂正届出書」、並びに2021年10月15日付、2022年10月14日付及び2023年10月16日付「上場調達資金使途変更に関するお知らせ」における、2019年7月24日の新規上場において調達した資金の使途、金額及び充当予定時期の一部を変更することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、さらなる成長を図るため、シェア拡大、機能拡大、及び、領域拡大の3つの戦略を実行しております。この戦略に基づき、生産性向上のための設備投資や成長のための投資に資金を集中していくなかで、使用資金の見込額と実績額に差異が発生したため、資金使途の変更をさせていただきます。

① 設備投資資金

高収益体質の生産体制を構築し、生産性や品質管理の向上につなげるべく、当期において積極的に設備の導入やオフィスの改装を実施した結果、使用資金が見込額を上回ったため、金額の変更をさせていただきます。

② 新規拠点設立費用

資金使途の変更はございません。

③ ECサイト用ITシステム構築費用

資金使途の変更はございません。

④ 成長のための投資資金

機能拡大・領域拡大について、当期からデジタルサイネージをデジタルクリエイトに名称変更し、従来のハード機器販売、動画配信システムの提供に加えて、AR(拡張現実)

を使った付加価値サービスの提案を積極的に行っており、オーダーグッズ制作と連携した『Novelty AR』を新しいARサービスとして開始しました。オーダーグッズ制作につきましては、さまざまな制作実績を積んでおり、IP（知的財産）コンテンツ関連の受注も進めております。また、オフセット印刷やシルクスクリーン印刷、オンデマンド印刷等の少品種多量生産型の案件対応については、高品質かつ短納期で生産できるネットワーク体制を活かしたプリントソリューションとして順調に受注を拡大しております。

これらの新規事業への使用資金の見込額と実績額に差異が発生したため、金額の変更をさせていただきます。

また、当社は、かねてよりM&A戦略を推進する方針のもと、社内でプロジェクトチームを編成し、継続的に各種情報収集や調査を実施しており、関連費用について上場調達資金の残額を使用し、上場調達資金を使い切った不足分は自己資金を充当いたしました。

これに伴い金額の変更をさせていただきます。

2. 変更の内容

資金用途の変更の内容は以下の通りです。変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

具体的な用途	充当予定時期	金額 (千円)
①設備投資資金	2019年10月期	15,200
	2020年10月期	29,100
	2021年10月期	21,200
	2022年10月期	42,090
	2023年10月期	52,238
	2024年10月期	<u>62,999</u>
	計	<u>222,827</u>
②新規拠点設立費用	2019年10月期	9,520
	2020年10月期	33,430
	2021年10月期	35,560
	2022年10月期	-
	2023年10月期	11,478
	計	89,988
③ECサイト用ITシステム構築費用	2019年10月期	2,450
	2020年10月期	12,710
	2021年10月期	14,750
	2022年10月期	-
	計	29,910
④-1 成長のための投資資金 (新規事業)	2021年10月期	26,500
	2022年10月期	34,800
	2023年10月期	50,742
	2024年10月期	<u>64,448</u>
	計	<u>176,490</u>
④-2 成長のための投資資金 (M&A)	2020年10月期	-
	2021年10月期	1,000
	2022年10月期	-
	2023年10月期	-
	2024年10月期	<u>20,785</u>
	計	<u>21,785</u>
	合計	541,000

(変更後)

具体的な用途	充当予定時期	金額 (千円)
①設備投資資金	2019年10月期	15,200
	2020年10月期	29,100
	2021年10月期	21,200
	2022年10月期	42,090
	2023年10月期	52,238
	2024年10月期	<u>78,173</u>
	計	<u>238,001</u>
②新規拠点設立費用	2019年10月期	9,520
	2020年10月期	33,430
	2021年10月期	35,560
	2022年10月期	-
	2023年10月期	11,478
	計	89,988
③ECサイト用ITシステム構築費用	2019年10月期	2,450
	2020年10月期	12,710
	2021年10月期	14,750
	2022年10月期	-
	計	29,910
④-1 成長のための投資資金 (新規事業)	2021年10月期	26,500
	2022年10月期	34,800
	2023年10月期	50,742
	2024年10月期	<u>63,001</u>
	計	<u>175,043</u>
④-2 成長のための投資資金 (M&A)	2020年10月期	-
	2021年10月期	1,000
	2022年10月期	-
	2023年10月期	-
	2024年10月期	<u>7,058</u>
	計	<u>8,058</u>
	合計	541,000

3. 当期業績への影響

本件資金用途の変更が当社の当期の業績に与える影響は軽微であります。

以 上